

インフルエンザ ～ 自宅療養について～

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、重症化しやすいのか??

新型インフルエンザ感染例の大多数は軽症であり、入院を必要とする患者さんはごく少数です。

インフルエンザは、『新型』に限らず毎年流行する『季節性』の場合でも喘息などの慢性呼吸器疾患や慢性心疾患など基礎疾患のある人や、お年寄り・乳児・妊婦さんなどが感染すると重症化することもあるといわれていますが、もともと健康な人の大多数は、1週間程度で自然に回復する病気です。

このため、新型インフルエンザと診断されても、感染した事を負担に思わず自宅でしっかり療養してください。

軽症の人は、自宅療養になります

新型インフルエンザに感染した場合、重症およびその危険性のある方は入院していただきますが、症状の軽い方は適切な治療を行なった上で、自宅で療養していただきます。

発熱等の症状が始まった日の翌日から7日間又は熱が下がってから2日を経過するまで、次のポイントに注意してください。

患者さんと家族みんなで注意するポイント

- ・基礎疾患がある方や妊婦さんなど、重症化するおそれのある方は、必要に応じ入院となります。
- ・自宅療養の場合に大切な事は、患者さんの体調管理をすることと、家族内での感染の拡大を防ぐ事です。ご家族の協力もお願いします。

【患者さん】

毎日、体温を測りましょう。

処方された薬は、症状がなくなっても最後まで服用しましょう。

外出は控え、出来るだけ個室で安静にして過ごしましょう。

お茶、イオン飲料、スープなどで水分補給をこまめにしましょう。

栄養をとり、安静にして十分な睡眠を心がけましょう。

『咳エチケット』を守りましょう。



『咳エチケット』

- ・咳が続いている間はマスクをしましょう。
- ・マスクがなく、咳やくしゃみをする時はティッシュなどで口と鼻をおさえる(間にあわない時は袖口で)。
- ・使ったティッシュはすぐにゴミ箱へ。
- ・咳をする時は、他の人から顔をそむける

【家族のみなさん】

患者さんの看病

患者さんの体温測定や容態の変化に気を配り、体調が悪化した場合はすぐに受診された医療機関へ相談しましょう。
(連絡先を事前にメモ)。

食事や飲み物は消化がよく、栄養のあるものを選びましょう。

家族の健康管理

家族の方も、毎日体温を測りましょう。

患者さんの看病をした後など、手をこまめに洗いましょう。

可能なら患者さんと別の部屋で過ごしましょう。

こまめな部屋の換気と、適度な湿度を保つことを心がけましょう。

患者さんと接する時は、マスクを着用しましょう。

患者さんの使用した食器類や衣類は、通常の洗濯及び乾燥で消毒できますが、タオルや食器の共有は避けましょう。

こまめに換気

加湿器・濡れタオルを使い適度な湿

使ったティッシュはすぐゴミ箱に



看病する家族もマスクを忘れずに。看病の後は手洗い



こんな時は医師に相談してください

次のような場合は注意が必要ですので、最初に受診した医療機関に再度相談してください。

- ・4日以上発熱が持続し体調が回復しない感じがする。
- ・咳、痰があまりにひどく、息苦しさや胸の痛みを感じる。
- ・水分が摂れなく、立ちくらみがするなど脱水が疑われる。
- ・呼吸が速く(呼吸数が多く)、食欲がない。

一度は回復したが、再び、咳や痰などが増え、発熱し始めるなどの場合も、相談してください。
小さな子どもさんの場合は、特に注意が必要です

医療機関などの連絡先を記入しておきましょう

連絡先	電話番号
新田クリニック	TEL 023-672-8001 FAX 023-672-8020

山形県のホームページ(アドレス：<http://www.pref.yamagata.jp>)にも、新型インフルエンザ情報を掲載しています。